

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	第 1 学年	担当者	品田 直毅
----	--------------	----	--------	-----	-------

**【教科目標】**

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

教科書 「新しい技術・家庭（技術分野）東京書籍」

**【使用教科書・教材等】**

**【学習計画】（技術分野）**

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学期	ガイダンス 技術とわたしたちの生活 製品に適した材料 製品の設計 ・構想、製図（等角図） 製作の準備、製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間で技術科で何を学ぶのかがわかる。</li> <li>・生活の中で技術のはたす役割についてわかる。</li> <li>・生活の中での、色々な材料の特徴が分かる。</li> <li>・製作品の用途や使いやすさを考え、機能を考えることができる。</li> <li>・基本的な製図の書き方を知り書くことができる。</li> <li>・製作工程と作業の見通しが持てる。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル
2 学期	製作 工具の使用法 製品の製作 製図（キャビネット図） 生物の生育環境と育成技術 生物育成に関する技術を利用した栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工具の基本的な使い方を理解して、構想を元に作品に仕上げることができる。</li> <li>・計画にしたがい適切に工具を使用して製作することができる。</li> <li>・作業の見通しをもって、安全に留意し、意欲的に協力しながら作品を製作することができる。</li> <li>・立体を正しく書き表すことができる</li> <li>・生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法が分かる。</li> <li>・目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル
3 学期	製品の製作 ・組み立て ・製品の仕上げ 技術とわたしたちの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫しながら作品を組み立てることができる。</li> <li>・材料や目的にあった仕上げをすることができる。</li> <li>・環境にやさしいものづくりについて考えることができる。</li> </ul>	教科書 ノート ファイル

**【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）**

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	25%	25%	25%	25%
評価の観点の趣旨	授業参加や提出物の内容等、より高い目標を設定して努力しているかどうかをみる。	生活を振り返りながら課題を発見し、その課題を解決しようと積極的に授業に取り組もうとしているかをみる。	学習したことに基づき、適切に判断し実践できるかどうかをみる。	学習の内容を整理し、定着しているかどうかをみる。
評価の方法	授業の準備 授業態度 提出物（ノート・プリント・作品）	発表等の授業態度 提出物（作品・プリント）	提出物（プリント・作品） 実習態度	定期考査 提出物（ノート・プリント）

**【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

- ・教科書・ノート・準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- ・質問や考えたことを積極的に発言して、授業内容の理解を確かなものにしましょう。
- ・プリントやファイル、作品の提出期限を守りましょう。
- ・ノートはしっかり取り、分かりやすいノートを作りましょう。
- ・プリント等の課題にまじめに取り組みましょう。
- ・基本的な技能を身に付けて、工夫して作品が完成できるように実習に根気よく取り組みましょう。

**【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）**

- ・実際に授業で学んだことを生かして、普段から家庭生活の中で手伝いをしながら体験的に理解を深めていきましょう。
- ・テスト勉強をしっかりとしましょう。テストは、学期に1回の予定です。テスト前には、ノートや、教科書の内容を、もう一度まとめたりして、覚えましょう。

